

# 私もスタートした 仲間と繋がる体験 10S



装着した初インターコムは  
使いこなしたい！

十数年のブランクを経てリターンライダーに返り咲いた私にとって、今のバイクに触れることはまこと浦島太郎のごとき驚愕の連続なんだけど（たとえばABSとかデュアルクラッチとか）、なんといつても一番のビックリは、通信系電子デバイス定番化という浸透率というか、知らない間にみんな普通にインターコムを使っているんですね！ つてこと。

ありがたいことにお仕事でツーリングをすることも多いのだけど、そうするとめれなくヘルメットにインターコムを装着した状態で下さる。ライダー同士はバイクのグリップを握りつつも会話を楽しみながクルーズができるのだ。

最初は私も「そんなもんイランやろ」と思っていた。昭和の硬派なライダーだった私は、「バイクなんてもんは自分との禅問答の場喋りながら走るなんて言語道断じや！」と、固く信じてたんだもん。いくら孤独を楽しみたたくても、お仕事の依頼とか好きな人からのコール（きやつ）とか、逃したくないアレコレが存在するのも事実。それに、インターコムの真髄である『走行中にツーリングメンバーと話せる』つてことがそもそも、



インターコムがあれば、ルートの相談からなんてことのない話しまで気軽にできるのが最高に便利。話さないときも、本体のスイッチひとつでオフに！

**10S**  
価格：2万9592円（ソロ）  
5万7024円（ペア）  
同時通話：4人  
通信距離：最大1.6km

予想していた何百倍も楽しくて素晴らしいものだったこと、このセナの10Sを使って、知ってしまったのですよ！ まさに黒船。まさに開国。文明開化の音がヘルメットの中に聞こえてきました。そうならなくても立っていてもいられなくて、早速マイヘルメットに装着してみる。

簡易式の説明書はシンプルな書き方なので、少し苦戦。たぶん並の女子よりは若干、機械モノには強いハズなんだけどな……。工具やパーツはすべて入っている、用意するモノがない。分からないことはセナのユーザー登録した会員専用サイトに情報があるし、動画を見ながら完成！

私の愛用ヘルメットだと、中のチークパッドを一旦ベリッと引きはがしてから作業がとってもラク。この辺、各ヘルメットメーカーによって若干違いがあるので、購入したショップがセナプロショップなら装着をお願いするのもいいと思う。

好みの位置に  
すぐに変えられる！

携帯電話のペアリングも、インターコム同士のペアリングも、本体のボタンを押すだけという手軽さ。スピーカーはマジックテープ式なので、位置を調節するのもラクラク。本体がとても小さいので、ヘルメットのデザインにしっかりなじむ！

